

## 第11章

# 病名・病態別 漢方治療の実際

- 1 呼吸器疾患…374
- 2 循環器疾患…384
- 3 消化器疾患…394
- 4 肝臓・胆嚢・膵臓疾患…409
- 5 腎臓疾患…414
- 6 代謝・内分泌疾患…417
- 7 血液疾患…422
- 8 脳神経系疾患…424
- 9 膠原病…433
- 10 悪性腫瘍…438
- 11 小児科疾患／疾患別…440
- 11 小児科疾患／症候別…448
- 12 外科疾患…452
- 13 整形外科疾患…456
- 14 産婦人科疾患／婦人科疾患…463
- 14 産婦人科疾患／産科疾患…470
- 15 皮膚科疾患…474
- 16 泌尿器科疾患…489
- 17 耳鼻咽喉科疾患…498
- 18 眼科疾患…508
- 19 精神神経科疾患…517
- 20 歯科疾患…524

## 1 呼吸器疾患

## 1 カゼ症候群

## A 普通感冒……発熱・悪寒・頭痛・咳嗽などある軽症の風邪

base: 参蘇飲 7.5～15g

① クシャミ、鼻水、咽痛、寒気を呈する者(急性上気道炎:寒証型)

→ + 麻黄附子細辛湯 6～7.5g or 小青竜湯 7.5g 加炮附子末 3g

〔注〕……1日3回服用するのではなく、症状が取れるまで2～3時間毎に服用する。

② 鼻・咽頭粘膜の発赤、腫脹により鼻閉、咽痛を訴える者

(急性上気道炎:熱証型) → + 小青竜湯 3g 合 麻杏甘石湯 5g

③ 発熱・悪寒・肩こりがあり、発汗しないとき → + 葛根湯 7.5～15g

④ 発熱、悪寒、節々の痛みがあり、発汗しないとき → + 麻黄湯 7.5～15g

⑤ 高齢者・虚人のカゼに → + 五積散 10～15g

## Example

① 咳・痰・咽痛: 参蘇飲 7.5g + 小青竜湯 3g + 麻杏甘石湯 5g + 附子 1.5g

② クシャミ・鼻水: 参蘇飲 7.5g + 小青竜湯 7.5g + 附子末 3g

③ 頭痛・咳・痰・咽痛:

川芎茶調散 7.5g + 桔梗石膏 6g + 苓甘姜味辛夏仁湯 9g

④ 高齢者・発熱・悪寒・咳: 五積散 15g + 小青竜湯 5g + 炮附子 2g

⑤ 発熱・咽痛・咳: 小柴胡湯 7.5g + 小青竜湯 3g + 麻杏甘石湯 5g

## B 重症の感冒(インフルエンザを含む)

悪寒や悪風のある風寒表証の者には、初期に辛温解表剤(桂枝湯・葛根湯・麻黄湯など)で発汗療法を行う。これに対して、熱感があり、体は熱く、頭痛、咽痛、四肢痛、脈浮数などのある風熱表証(温病)の者には辛涼解表剤(葛根湯加桔梗石膏・銀翹散)を用いる。小柴胡湯は胃腸障害を予防する作

用のある消炎解熱剤であり、いずれの場合も併用するとよい。

base:小柴胡湯 7.5~30g

- ① 悪風・自然発汗のある者(風寒表証) → + 桂枝湯 7.5g(=柴胡桂枝湯)
- ② 悪寒・無汗・肩こりのある者(風寒表証) → + 葛根湯 7.5~15g
- ③ 悪寒・無汗・関節痛のある者(風寒表証) → + 麻黄湯 7.5~15g
- ④ 熱感を訴える者(風熱表証)
  - + 葛根湯 7.5g 加桔梗石膏 6g or 銀翹散(煎)
- ⑤ 咽頭炎・扁桃腺炎 → + 桔梗石膏 6~9g
- ⑥ 高熱が持続して発汗、口渴の強い者(脱水症) → + 白虎加人参湯 7.5g
- ⑦ 高熱が持続して便秘する者
  - + 大承気湯 7.5g(=大柴胡湯 7.5~15g)
- ⑧ 下痢を伴うとき(感染性腸炎・ロタウイルス感染症)
  - + 五苓散 7.5g(合 平胃散 7.5g) or 藿香正気散(煎)
- ⑨ 咳・痰 → + 半夏厚朴湯 7.5g or 小青竜湯 3g 合 麻杏甘石湯 5g
- ⑩ 頭痛 → + 川芎茶調散 7.5g~15g

### Example

- ① 咽痛・扁桃腺炎・発熱:
  - 小柴胡湯 7.5g + 桔梗石膏 7.5g + 葛根湯加川芎辛夷 12g
- ② 咽痛・扁桃腺炎・発熱: 小柴胡湯 7.5g + 葛根加朮附湯 14g(抗生物質)
- ③ 咽痛・頭痛: 葛根加朮附湯 14g + 桔梗石膏 6g + 川芎茶調散 10g
- ④ 咽痛・咳: 小柴胡湯 7.5g + 半夏厚朴湯 10g
  - ⇒ 頭痛: 川芎茶調散 10g
- ⑤ インフルエンザ・悪寒・発熱: 麻黄湯 9g + 小柴胡湯 30g

### C 胃腸型のカゼ(感染性胃腸炎)

base:小柴胡湯 7.5~15g 合五苓散 7.5~15g(合平胃散 7.5g)

or 藿香正気散(煎)

- ① 悪心、嘔吐の強いとき → + 半夏厚朴湯 7.5g
- ② 腹痛の強いとき → + 桂枝加芍薬湯 7.5g